



第 20 回例会報告 (11月26日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	35名	・欠席数	19名
・当日出席率	72.34%	・前々回修正出席率	97.96%		

<欠席会員>阿部、原、檜垣(直)、檜垣(俊)、平田、菅、小堀、桑森、松本、村上(裕)、田中、竹田、八木
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、川上、光藤、宮本、越智
 <11/12欠席補填>(11/17今治南)原、檜垣(俊)、平尾、吉良、村上(修)、西本、大澤、佐伯、田中、矢野

◆幹事報告・書き損じハガキの協力宜しくお願いします。

・12月のロータリーレートは1ドル120円です。

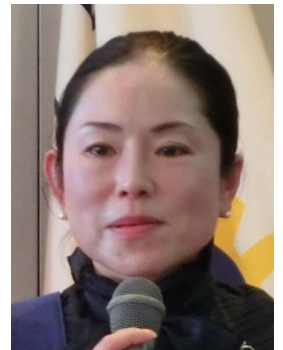
◆親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・渡邊道信会員：ロータリークラブに入って23年になる。古い方から4番目になった。これからも頑張りますので宜しくお願いします。

ロータリー財団委員会アワー

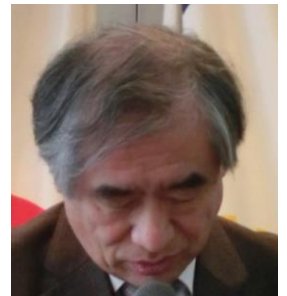
◆板脇ゆか委員長：ロータリー財団プログラムは大きく5つのプログラムがある。①「グローバル補助金」は、国際的で大規模な奉仕活動で、6つの重点分野にかなったもの。人道的プロジェクトやグローバル補助金奨学金、VTT（職業研修チーム）がある。②「地区補助金」は、比較的小さな人道的活動と教育的活動の支援。地区補助金や奨学金、VTTがある。今治ロータリークラブでは今年度、地区補助金を活用して、あすなろ学園ヘント、机、いすの寄贈を行う。③「ロータリー平和センタープログラム」は、平和研究、紛争解決に関する修士課程での研究を提供。世界の7つの大学とその中にロータリー平和センターがある。④「ポリオプラスプログラム」は、ポリオ、はしか、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核の予防接種を推進。2018年にポリオ絶滅宣言が目標。⑤「基金プログラム」。

▼6つの重点分野と持続可能性のなかで、本日は「水と衛生」について、生きるための水をテーマに話す。「飲み水」一年中安定して取水できるのは世界人口の87%。水源が不便な場合、水量が少なく、衛生状態を保つ水利用は後回しになる。「生活に必要な水」生活用水使用量は生活様式や気候、節水意識によって異なる。日本は先進国にしては少なめ。家庭の蛇口で安全な水を供給する事が伝染病の感染、拡大防止になる。「公衆衛生のための水」水洗トイレで糞便が安全に隔離されることで水の疫病伝播を防ぐことができる。「食料のための水」食料を育てるには膨大な水が必要。価格の高いものを生産するほど多くの水が必要な傾向がある。

▼水と疫病は相互に作用する。衛生施設等の欠如に関連する病気は人命を奪うばかりか、働く能力低下、貧困をもたらす要因である。



◆西信正男会員：▼ポリオは、「小児まひ」と呼ばれる。日本では、1980年を最後に野生株ポリオウイルスによる麻痺患者の発生はなくなった。2000年にはWHOは日本を含む西太平洋地域のポリオ根絶を宣言。現在は、パキスタン、アフガニスタンで発生がある。ポリオウイルスに感染すると下痢等が見られ、100人中5~10人は、かぜ様の症状、発熱、頭痛、嘔吐が現れる。1~2,000人に1人は手足の麻痺、一部の人はその麻痺が永久に残る。ポリオはヒトからヒトへの感染のみ。他の動物への感染はない。▼日本では、平成24年に経口生ポリオワクチンから不活化ワクチンに変更した。



次回例会(12月3日)

【 年次総会・新会員卓話 】

<会員誕生日祝> 平尾 浩一郎氏 (12/9)

<配偶者誕生日祝> 白石 洋治氏 (12/4)

[健寿司]